

12:00- 受付

センターホール 1階 エントランス

5/17 (金) [初日プログラム]

研究発表	【分科会Ⅰ】	松ヶ崎・西キャンパス内 センターホール	【分科会Ⅱ】	松ヶ崎・東キャンパス内 60周年記念館1F記念ホール
13:30-14:10	台北故宮博物院蔵「宋人画千手千眼観世音菩薩」像の淵源について 羅 翠恂 (早稲田大学)		画家金煥基 (キム・ファンギ/1913-1974) の伝統表象 — 南北分断後、新国家建設期の韓国における1950年代の制作から — 松岡 とも子 (総合研究大学院大学)	
14:10-14:50	山形・宝積院十一面観音菩薩立像再考 村上 幸奈 (成城大学)		1956年「これが明日だ」展再考 —「グループ2」の展示を中心に — 吉村 典子 (宮城学院女子大学)	
14:50-15:30	大報恩寺六観音菩薩像研究 — 納入経・造形・祈願に着目して — 森 香那子 (東北大学)		ロジャー・シモムラの《ミニドカ》シリーズ — 浮世絵イメージの使用と日系人強制収容の記憶 — 池上 裕子 (神戸大学)	
(休 憩 1 5 分)				
15:45-16:25	隋の莫高窟における弥勒経变相図の成立について 折山 桂子 (京都大学)		シャルル・ウダール (1855-1931) の版画作品におけるジャポニスム 荒木 弘太郎 (ソルボンヌ大学)	
16:25-17:05	根津美術館蔵「春日宮曼荼羅」について — 本地仏と真言宗の関わりを中心に — 岡崎 有紀 (岡山県教育委員会)		黒人彫刻の「芸術化」に対して稲垣吉蔵の台座が果たした役割 — バーンズ・コレクションを中心に — 田中 (稲垣) 里芳 (慶應義塾大学)	
17:05-17:45	白隠慧鶴筆「大日如来像」に関する考察 柿澤 香穂 (早稲田大学)		1930年代のフランスにおける写真の位相 — グラフィックアート誌『アール・ゼ・メティエ・グラフィック』を中心に — 磯谷 有亮 (大阪大学)	